

「大学生との食育に関する意見交換会」アンケート結果

平成24年10月23日 高知学園短期大学
参加学生23名中アンケート回収15名

■ 今回の「意見交換会」に対する全般的な印象はいかがでしたか。

	人	
1 とても良かった	11	73%
2 良かった	4	27%
3 どちらとも言えない		
4 良くなかった		
5 まったく良くなかった		

■ 講演はご参考になりましたか。

1 とても参考になった	12	80%
2 参考になった	3	20%
3 どちらとも言えない		
4 参考にならなかった		
5 まったく参考にならなかった		

■ 意見交換はご参考になりましたか。

1 とても参考になった	5	33%
2 参考になった	7	47%
3 どちらとも言えない	3	20%
4 参考にならなかった		
5 まったく参考にならなかった		

■ 開催時間(12:50~14:20)の長さはいかがでしたか。

1 長すぎる		
2 やや長い		
3 ふつう(適当である)	13	87%
4 やや短い	2	13%
5 短すぎる		

■ 参加者からのご質問やご意見をうかがう時間は、十分に設けられていましたか。

1 長すぎる		
2 やや長い	1	7%
3 ふつう(適当である)	14	93%
4 やや短い		
5 短すぎる		

■ 今まで農業体験の経験がありますか。

	複数回答あり	
1 経験はない	2	13%
2 小中学校の学校行事で体験したことがある	5	33%
3 過去に自宅あるいは親類等の農作業の手伝い等をしたことがある	6	40%
4 現在農作業の手伝いを時々している	1	7%
5 野菜等を自分で栽培している	2	13%

■ 今後農業体験の機会があれば参加したいと思いますか。

1 是非参加したい	6	40%
2 内容によっては参加してもよい	8	53%
3 どちらともいえない	1	7%
4 あまり関心がない		
5 参加する考えはない		

以下の問い掛けに頂きました、ご意見等の一部をご紹介します。

■ 今回の「意見交換会」に関することについて、ご意見・ご要望があれば、ご自由にお書きください。

○食農についてお話しを聞く機会が今まで無かったので、良かった。
○昔とは違って、現代は農業に関わることが、普通に生活していると無くなっているんだなと感じました。
○教育者としてどういう志を持って子供達に接していくのか、勉強になりました。
○栄養教諭としての仕事について、少し考えることができたいい意見交換会でした。
○今、世間で起きているいじめ問題も食育を通して、命の大切さ、尊さを実感し、問題解決の一つの方法になればいいなと思いました。
○一番感じたことは、今の子供達にもっと「育てることの楽しさ」を教えてあげて欲しいということです。自分達で食材を育てれば、大変さや難しさを知ることができます。そうすれば嫌いだったものでも愛着を持つことが出来、好き嫌いの克服につながると思います。是非この行事を途絶えさせることなくつなげて行って欲しいです。
○これからの地域を盛り上げてもらうために、地元についてよく知って貰うことはとても効果的だと思いました。
○将来栄養士になろうと考えているのですが、今回の話を聞いて、栄養士として自分はこういった食育をしていくことが出来るのか、改めて考えていきたいと思いました。
○今の子供達は、家の中でゲームばかりすることや、学校でも室内にしか、いない子も多くいます。そういう子供達が(農業)体験できるような環境になっていくと良いと思います。

■ 「食」と「農」を結びつける食育活動を促すためには、どのような取組が効果的だと思いますか。

○農家の人達の話聞くことも大切と思います。
○学校給食で地域の食材をふんだんに用いる。そのことによって地域の農漁業の存続と子供達の健康維持を図ることができる。
○実際に体験する機会を学校や地域で催し、食や農を身近に感じられるようにすると思う。また、地域間でのつながりを考えて、他校の同学年同士で取り組んで見るのも、中学に上がる時などに良いかと思いました。
○農作業体験をした子供達の給食の残食率が、激減したと言っていました。自分たちが愛情を込めて作ることで、早く収穫したい！食べたい！と思う気持ちが持てるようになるのではないかなと思った。野菜の好き嫌いがある子供には、まず何か育てさせて自分で収穫させ、食べてもらうようにすれば改善できると思います。
○総合などを使い、自分たちの手で色々な野菜を調べて、それを使った料理を考えて発表させることも、想像力を育て「食」と「農」とのつながりを知るきっかけになると思います。
○栄養教諭の実習で、小学4年生の大根とジャガイロの植え付けのお手伝いをしました。成長過程を見れるので、普段食べているものに対し少しでも興味を持てると思いました。栄養教諭の先生から、栄養教諭になったらこういった畑で野菜を育てる食育活動も企画したりするので地域団体との連携が必要ということも教えてもらった。
○最近では、野菜がどうやってできているかも知らない子も多いと聞きますし、農業と食を結びつけた学習は幼少期から必要なことだと思います。
○農作業を行うことで子供達にとって食の大切さというものが大きくなっているのだと分かりました。自分達で育て、自分達で料理し、自分達で食べるこの一連の流れの中で地域の方への感謝の心、仲間と協力して行うことの喜び、誰かに提供して喜んでもらえることの嬉しさを子供達は感じる事が出来たのだろうと学びました。食材を育てることはこんなにも大変で、それを調理することもこんなに大変なのだ気づいたから給食の残量が減少したのだろうと思います。
○地域の行事などに参加すると農業などを行っている方とも直接触れ合うことが出来、たくさん体験したお話しを相手の顔を見ながら聴くことが出来るので、より興味を持つのではないだろうか。そこから自分達で農作業を行い、食育活動につなげて行く。食や農業などに興味を持つと積極的に参加する気持ち、向上心、食べ物に対する愛情や感謝の気持ち、表現力、コミュニケーション能力など様々な力を得ることが出来ると思います。このような効果を得られる食育活動はとてもすごいと思うし、その時代、時代に合った方法をこれからも探していかなければならないと思います。